第14回日本植物学会ダイバーシティ推進ランチョンセミナー

コロナ禍を経て大会の’これから’を考える ~あらゆる世代に活用される大会とは？

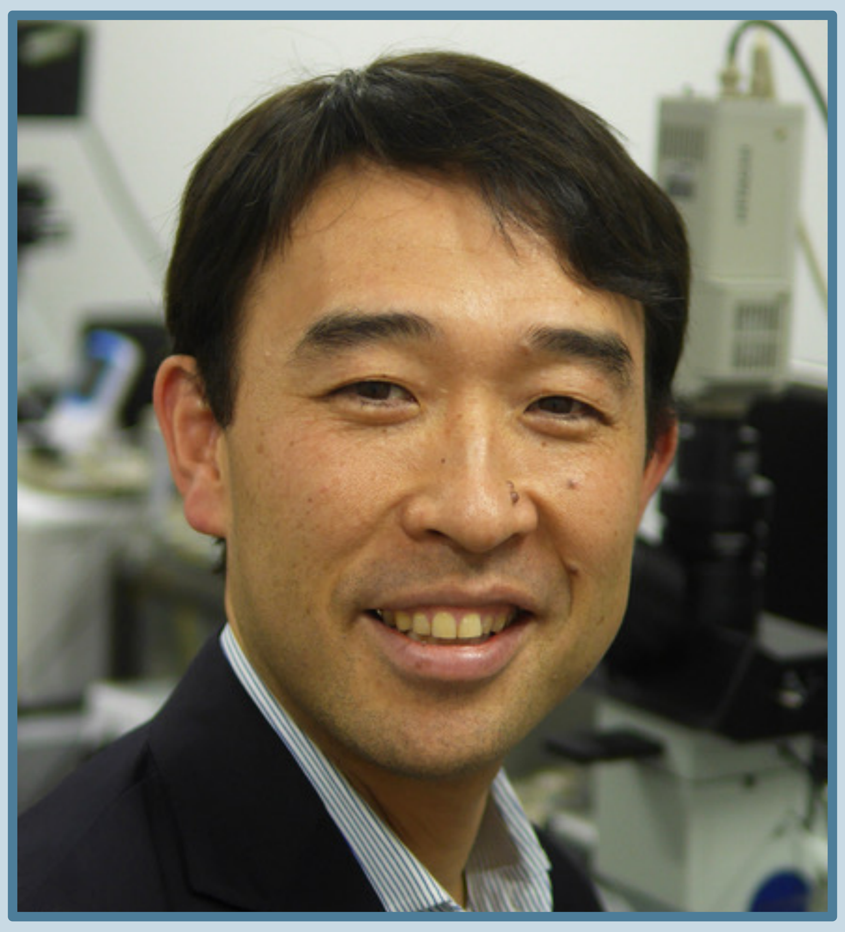
9月8日（金）12:30-13:30

会場: A会場
(オンライン視聴可能)
お弁当あります！

-プログラム-

1. 日本植物学会長挨拶　寺島一郎（東大）
2. 本テーマを取り上げた経緯　成川礼（都立大）
3. パネルディスカッション

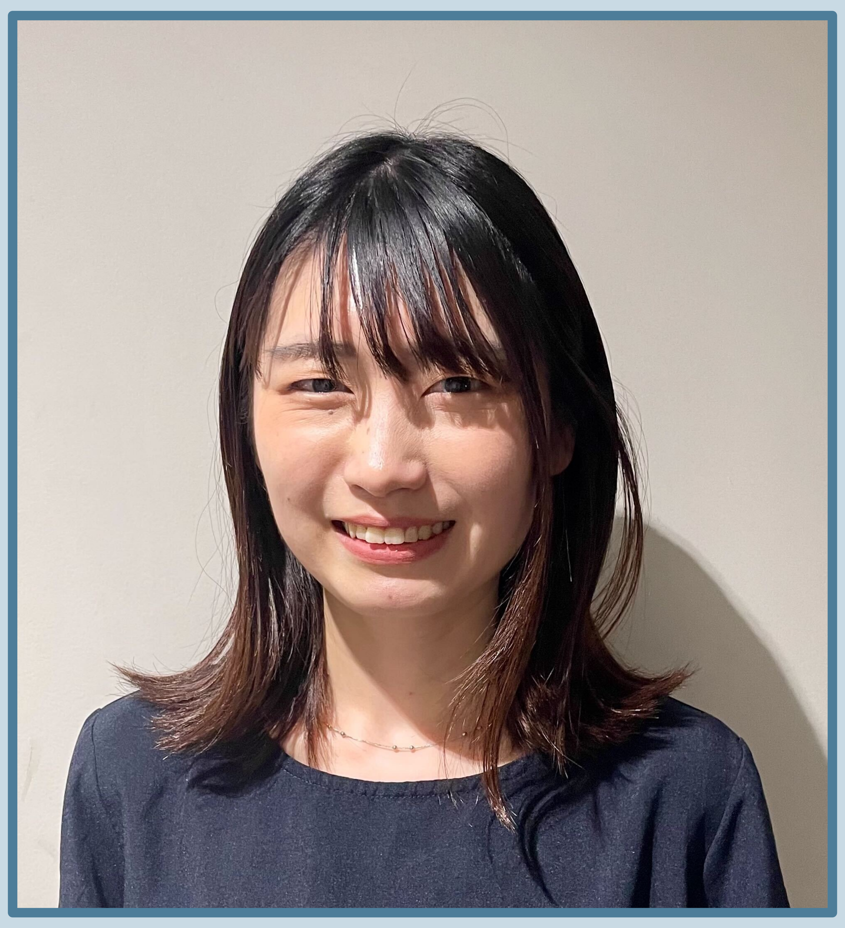
-パネリスト-



東山哲也 東大・教授
(2020年名古屋オンライン大会実行委員長)

高山浩司 京大・准教授
(2022年京都ハイブリッド大会運営委員)

片山なつ
東大・准教授



平田梨佳子
京大・特定研究員

大竹桃
東北大学・博士後期課程

-司会-

成川礼　都立大・准教授
木下温子　都立大・助教
(いずれも
日本植物学会ダイバーシティ推進委員
2021年八王子オンライン大会運営委員)

大会のオンライン・ハイブリッド化はこれまで出張が難しかった会員層の参加が可能になるなどダイバーシティ拡大に一定の効果をもたらした一方，会場にいるからこそ生まれるネットワーク構築の機会喪失や運営の負担が増加するといった側面も浮き彫りになってきました。また，若い世代の方にとっては，学会の開催形態によって戸惑うこともあるかもしれません。そこで，改めて大会の今後のあり方について皆さんと考えてみたいと思います。今回は様々な世代のパネリストとのディスカッションをメインとして議論を重ねることで，学会大会が今後より多くの方々にとって有意義なものになるきっかけになれば幸いです。

日本植物学会
The Botanical Society of Japan

日本植物学会第87回大会に参加登録された方はどなたでも本セミナーに自由に参加できます。